



新年度予算の審議を中心とする平成20年第2回定例議会は3月7日に招集され、会期を21日までの15日間と決定。12月定例会で付託された「美幌町デイサービスセンター設置条例を廃止する条例」を修正可決した後、新年度予算案の審議や5人の議員による一般質問など、活発な論議を展開しました。また、特別養護老人ホーム緑の苑の運営等について調査するため、議員提案により特別委員会を設置。会期を2日間短縮して19日に閉会しました。

総額190億5581万4千円

対前年度比4.2% 8億4千万円減の緊縮型

7日 会期を21日までの15日間と決定。町長から「美幌町土地開発公社の解散」についてなど3件の行政報告を受けました。

デイサービスセンター
10月1日で閉鎖

次いで、平成19年第8回定例会において付託された「美幌町デイサービスセンター設置条例を廃止する条例」について、特別委員会からの審査結果報告どおり修正可決。農業委員1名を議会推薦、平成19年度関連議案13件を原案のとおり可決しました。

10日 開会后、平成20年度各会計予算案など関連議案21件が一括上程され、町長から町政執行方針が示されました。土谷町長は「昨年5月から町政の舵取りをさせていたが、その職責の重さ

を認識し2年目に向かって決意を新たにしている。

国は、昨年6月に財政健全化法を公布し、健全化判断比率として4つの指標を示したが、この指標が一定水準を超えると早期健全化計画や再生計画に基づく財政健全化が義務づけられる。さらに、抜本的な行財政改革・経営改革に取り組み地方自治体に対して公債費の負担軽減を図る制度が創設され、本町においても約5億円の公債費を削減できる見通しだが、計画未達成の場合にはペナルティが課されるため、着実に行財政改革に取り組んでいく必要がある。

町政執行方針
2年目の決意

今までの慣例や感覚から脱却し、行財政改革やアウトソーシング推進計画に基づき、真に必要なもの、見直すべき

ものを判断し、住民満足度を高めるとともに持続可能な行財政運営を念頭に置きながら、将来世代へ課題と負担を先送りすることなく、行財政体質の構造改革を推し進めたい。」と述べ、6項目を柱とする主要施策を説明。

最後に、「本町の財政状況は非常に厳しいが、徹底した行財政改革に取り組み、事務事業については時代に即した柔軟な発想で見直すなど、今

小さくてもキラリ夢輝く
まちづくりの実現を



町長の行政報告

◆ご寄附

2月12日、元町在住の田村博昭様より町のために役立ててと100万円を。ご趣旨に沿って活用したい。

2月18日、社団法人美幌医師会（平間道昭会長）様より公共の目的に有効活用いただきたいと、平成18年に閉校した旧美幌医師会附属看護学院の建物を。新年度に施設の内部改修を行い、障がい児の児童デイサービス事業所として活用して参りたい。

◆美幌町土地開発公社の解散

美幌町土地開発公社は、本町の健全な発展と秩序ある整備を促進するために必要な土地の先行取得を行うため、町から基本財産として日並の町有林の現物出資を得て昭和48年4月に設立し、公共用地の先行取得を進めてきた。

しかしながら、近年の厳しい財政環境の中で公共用地の先行取得ができない状況にあること、国庫補助や地方債及び基金などの活用により、町が公共用地を直接取得できるなど公社の必要性も希薄となってきたことから、近隣町村においても公社の解散が相次いでいる。このため、本町においても行政改革の一環として、

平成20年度予算総括表

会計名	20年度予算額	19年度予算額	増減	増減率
一般会計	93億8,328万2千円	92億7,969万1千円	1億359万1千円	1.1
特別会計	66億8,937万5千円	80億593万円	△13億1,655万5千円	△16.4
国民健康保険	29億5,694万4千円	27億3,700万7千円	2億1,993万7千円	8.0
老人保健	3億5,893万9千円	24億8,221万2千円	△21億2,327万3千円	△85.5
後期高齢者医療	2億3,105万9千円		2億3,105万9千円	皆増
介護保険	12億399万6千円	11億7,653万4千円	2,746万2千円	2.3
介護サービス	3億6,116万7千円	3億9,831万2千円	△3,714万5千円	△9.3
公共下水道	15億2,781万2千円	11億3,230万4千円	3億9,550万8千円	34.9
個別排水処理	4,945万8千円	7,956万1千円	△3,010万3千円	△37.8
企業会計	29億8,315万7千円	26億1,128万9千円	3億7,186万8千円	14.2
水道事業	11億4,379万8千円	7億4,553万2千円	3億9,826万6千円	53.4
病院事業	18億3,935万9千円	18億6,575万7千円	△2639万8千円	△1.4
合計	190億5,581万4千円	198億9,691万円	△8億4,109万6千円	△4.2



平成20年度

を大切にしながら将来を見据え、町政執行に取り組んで参りたい。『全ては話し合うことから』を基本に町民の皆さんの声を聞きながら、『小さくてもキラリ夢輝くまちづくり』をメインテーマに、楽しみまち、元気なまち、安心のまち、工夫するまち、自衛隊と歩むまち、話し合うまち、支え合うまちの7つの政策目標とマニフェスト実現に向けて最大限の努力をしていく。」と結びました。

次いで一般質問が行われ、古館・坂田・平野・大江の4議員が登壇。行政改革や教育・

福祉行政、食の安全及び地域医療対策などについて町長の考えを質しました。

一般質問 5人が登壇

11日 前日に続いて一般質問を行い、吉住議員が登壇。町長の政治姿勢を質しました。次いで、新年度関連議案の説明に入り、各担当部長から細部の説明を、副町長から主要事業の概要について説明を受けました。

12日 引き続き各担当部長から新年度関連議案の説明を受け、午前11時過ぎに本会議を休憩。各

会派等において議案内容の精査及び疑問点の整理を行いました。

13・14日 本会議を休憩し、各会派等において議案内容の精査及び問題点整理を行い、14日午後2時過ぎに本会議を再開。新年度関連議案の質疑に入りまし

17・18日 14日に続いて新年度関連議案の質

疑を行い、活発な論議を展開しました。

また、休憩中には会派代表者会議や議会運営委員会を断続的に開催。民間移譲計画が明らかになってきている特別養護老人ホーム緑の苑の運営等を調査するため、議長を除く13人から特別委員会の設置を求める決議案が議長に提出されました。

緑の苑の運営等調査 特別委員会を設置

19日 前日に続き、新年度関連議案の質疑を行い、午前11時過ぎに本会議を休憩。会派等審議を経て午後1時30分に本会議を再開し、新年度関連議案の表決に入り、平成20年度各会計予算案など関連議案21件を原案どおり可決。

次いで「美幌町立特別養護老人ホーム緑の苑調査特別委員会設置に関する決議」を全会一致で可決。議長を除く13人で特別委員会を設置し、調査終了まで閉会中の継続調査としました。

その後、意見書3件を可決専決処分報告など3件の報告を受け、当初の予定から2日間短縮して閉会しました。

公社経営に要する経費の削減と事務の効率化の観点から、本年3月31日で解散しようとするもの。

解散にあたっては、町の依頼を受けて平成7年度に取得した車両センター用地を財産処分しなければならぬため、本定例会に、災害時における備蓄倉庫及び資機材格納庫の建設予定地として、町が公社から土地を取得する契約議決の提案をするところである。

なお、議会において解散の議決を得た後、道に解散認可申請を提出、4月上旬には公社解散が正式に認可される見込みであり、その後公社の精算結了となれば改めて議会に報告したい。

平成20年度会計の予算規模

